

令和6年度第1回就労支援部会

【日時】令和6年4月12日（金）14:00～15:00

【開催方法】ZOOMアプリを用いたオンライン

【参加者】

就 労：authentic、QOLEAD、あしたば園、あらいぐま、オレンジ、くっかる、チャレンジ工房カナン、
みどり厚生事業所、夢来夢来、わかば、共生園・のごろ、こころ、まんまる、滝の園、奄美共生園、
あまみん、ジョイワーク奄美、すまいる、
星窪きらり、みらい

相 談：あしたのえがお、ていだ、ひより

その他：大島特別支援学校、

あまみ障害者就業・生活支援センター

行 政：大島支庁地域保健福祉課、

奄美市福祉政策課、宇検村保健福祉課

事務局：ぴあリンク奄美



合計 37 名

◎進行：木場 ◎記録：福崎

【就労支援部会】

1.自己紹介

2.情報提供他

○令和5年度の大島特別支援学校卒業生の状況について

○事務局より（※別紙資料）

・昨年度の振り返り及び今年度計画について

○奄美市より（※別紙資料）

・65歳以上の方の就労支援事業所の利用について（意見書の説明）

3.意見交換

○相談支援専門員との連携について

- ・相談支援事業所としては、必要に応じて情報をいただくと対応しやすい。
- ・報酬改定で、個別支援計画を改めて、相談支援事業所に交付することとなった。

○食事提供の状況について

- ・無料提供を行っている。（生活で食事管理が難しい。生活を整えるためなどの目的がある）
- ・食事代をいただいている。（食料物価高騰に伴い、値上げをお願いしている。）

○事業所が相談支援専門員に求めるものは

- ・どのようなことを相談すればよいのかわからない。（どの程度の情報を提供すればよいのか。）
- ・つねに連携が取れている、何かあればお互いにやり取りができています。
- ・体調不良により出勤できない状況になったら相談支援事業所に連絡を入れるようにしている。
- ・利用者の様子が気になることが多かった時や体調不良が続いた際に相談支援専門員に連絡している。
- ・事業所内で申し送りを実施。利用者が変わった様子があったときには出来るだけ相談員につなげるようにしている。

・相談支援事業所としては何もなければ3か月に1回しか関わる機会がない。入院など大きな変化があった時には、その都度、連絡してほしい。

○地域との交流や共同について（BCPの義務化により、災害時対応に向けた地域との交流の在り方などについて）

- ・コロナ禍前までは、行っていたが、今はほとんど中止になっている。今年になって、地域の行事に参加する機会は徐々に参加はしてきている。（大きなイベントは徐々に戻ってきている）
- ・災害対応としては、施設から集落に避難するというような地域を巻き込んだ訓練を行っている。（区長などにも参加していただいている。）
- ・保育所の子供を施設に迎えて、一緒に農作業したりしている。（芋ほりなど）
- ・地域の防災訓練に参加したり、交流することも行っている。地域の方が事業所に来られることもある。

○地域での認知度について

- ・地域の方に事業所の取り組みを伝える機会を

○施設外支援を行っている事業所の状況

- ・ホテル清掃（年間契約）
- ・お菓子屋にて週1回お菓子ラッピングを行っている。
- ・畑の補助（草刈り、収穫、袋詰め）、受注作業を行っている。農業イベントへの出店
- ・福祉フェスタがなくなったが、他の農業関係のイベントや商工会関係のイベントなどは継続している。新しいイベント開催も必要だが、部会として現在ある地域のイベントにもっと参加できるように働きかけていくことも必要。

4.その他（事務連絡等）

○なかぼつより

- ・依頼：事業所訪問及び見学について（新規事業所が増えている状況もあり、それぞれの活動を知るため）